

## 儀式、嘯いた岬の鼻先

Tunisia の夜秃鷲が円を書く

赤は、血の、鼓動を揺らされている

黙々と空を喰うビルの群れ 繁殖

錯綜する生殖器のワルツ

対蹠地にて三ツ星は食い破られ

歩く 死ぬ 走る 音楽だった雨季

自然保護区 肉体を裏返す

名誉の集約 食 質量は保存する

半狂乱高じてフィアンセは殺害（べきだ）

相撃てば名誉の精が2つ殖える

ダムにはダムの論理ダムダムダムダム

焼却は増殖伐採は粛清

忘れておればあらぬこと抜歯式

夢を見るなり治世古代へ遡上する

水槽のアロワナが震えている

龍：dragon：夢：尾

高原に洞穴頭蓋から馬蹄

止めて 息を 後ろから 来ている

後ろとは上である 蜃気楼とする

窓を えば、それは兌換

原初の珈琲終わらない蠢き

つぎはげば appetite しびきれてしむ

栄養価枸杞ひとつずつ口に運ぶ

嘔吐から新緑を抜いたくらいの

なぜた爆ぜたいいつでもおいだればください

Tango を用いて踊れば許されただろうに

人間はいつか風景としてあった

正史に罹る上では海を乞はねば

ネガポジだった二人<sup>ににん</sup>の恋が始まった

命あるものがある命を奪う

うつくしいとおもへよ巨体軀の尻

桜芽のかたくしまっておれは搏つ

fastenerasten 与えられうかぶ意味

おもへらく齋した飛花落花の爪

<sup>ため</sup>為ればエアコンディショナーディメンションへと

沿線にずっとたんぼぼが続いてる道だ

ビリジアングリーンが酔ふてきている

目立ったオレンジのフライパンだった壁だ

平和へと戻った革命を穿つ

<sup>コート</sup>外套で下がなんだか夜が囁う

忘れた頃に来た頃にうそぶけば山

四拍子だった恨むべきかよう

赤い窓ですが嵐に開かれた

擲弾兵のために歩いて行ってるわ

わさぶ仕事に疲れて逃亡して彼方

思い出したように 音

TrailingFasten 飞机カ・ル・メン

なんぞ粉吹かざるや少女の初しごと

saga of petal 玩具箱片付けなさい

和名にふぐと入りたる池に棲む